



<p>急行列車券ノ料金並乗車心得</p> <p>百五十哩未満 金一圓 百五十哩以上 金一圓四角五分</p> <p>但四年未満ノ小兒ハ無料四年以上十二年未満ハ半額ナリ</p>		<p>●團體乘車割引表</p> <p>哩程 人員</p> <p>廿五人以上 五十人以上 一百人以上 二百人以上 三百人以上</p> <p>百哩未満 二割五分 二割七分五 三割五分</p> <p>百哩以上 三割五分 三割七分五 四割五分</p>		<p>●學生定期乘車券賃金表(三等)</p> <p>期間一ヶ月三月六月</p> <p>哩程 金割増賃</p> <p>一 〇、五〇 一、一〇 一、六〇</p> <p>二 〇、九〇 一、八〇 二、七〇</p> <p>三 一、三〇 二、六〇 三、九〇</p> <p>四 一、七〇 三、四〇 五、一〇</p> <p>五 二、一〇 四、二〇 六、三〇</p> <p>六 二、五〇 五、一〇 七、六〇</p> <p>七 二、九〇 六、〇〇 八、七〇</p> <p>八 三、三〇 六、九〇 九、九〇</p> <p>九 三、七〇 七、八〇 一一、一〇</p> <p>一〇 四、一〇 八、七〇 十二、三〇</p>	
<p>●學生團體乘車割引表</p> <p>哩程 人員</p> <p>廿五人以上 五十人以上 一百人以上 二百人以上 三百人以上</p> <p>百哩未満 二割五分 三割五分 四割五分</p> <p>百哩以上 三割五分 四割五分 五割五分</p>		<p>●學生定期乘車券賃金表(二等)</p> <p>期間一ヶ月三月六月</p> <p>哩程 金割増賃</p> <p>一 〇、七〇 一、四〇 二、一〇</p> <p>二 一、一〇 二、二〇 三、三〇</p> <p>三 一、五〇 三、〇〇 四、五〇</p> <p>四 一、九〇 三、八〇 五、七〇</p> <p>五 二、三〇 四、六〇 六、九〇</p> <p>六 二、七〇 五、四〇 八、一〇</p> <p>七 三、一〇 六、二〇 九、三〇</p> <p>八 三、五〇 七、〇〇 一〇、五〇</p> <p>九 三、九〇 七、八〇 一〇、七〇</p> <p>一〇 四、三〇 八、六〇 一〇、九〇</p>			

永代橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
大橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
兩國橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇
吾妻橋	三吾妻橋	三小松島	三〇

大人	十哩	十七錢
小兒	九錢	
大人	百哩	四十八錢
小兒	百哩	四十八錢

◀(表金貨車電間分)

別	鎌	田	白	菰
府	崎	浦	木	菅
小大兒人	小大兒人	小大兒人	小大兒人	小大兒人
二〇〇	二〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇
五〇	五〇	九〇	一三〇	一七〇

表程里及錢賃車馬合乘

長	字	立	赤	杵	日
洲	佐	石	松	築	出
十二里	十一里	八里	五里	三里	三里
四十五錢	六十五錢	五十五錢	三十一錢	三十八錢	廿一錢

●急行列車心得

新橋神戸間、新橋下關間及新橋名古屋、上野平、青森間運轉左記急行列車ニ乗車ノ場合ハ普

通乘車賃ノ外急行列車券ノ購求ヲ要スルモトス

急行列車	午後八時三十分神戸行(最急)一、二等名古	午後七時三十分魚津ヨリ新橋行(急行)各等
急行列車	午後三時四十分下關行(急行)各等	午後七時四十分新橋行(最急)一、二等
急行列車	午後六時三十分神戸行(最急)一、二等	午後六時三十分新橋行(最急)一、二等
急行列車	午後七時三十分神戸行(急行)三、四等	午後七時三十分新橋行(急行)三、四等
急行列車	午後九時 時神戸行(急行)一、二、三等	午後九時 時新橋行(急行)一、二、三等

下野ヨリ(急行)午後十二時  
上野ヨリ(急行)午後十一時  
上野ヨリ(急行)午後十時  
上野ヨリ(急行)午後九時  
上野ヨリ(急行)午後八時  
上野ヨリ(急行)午後七時  
上野ヨリ(急行)午後六時  
上野ヨリ(急行)午後五時  
上野ヨリ(急行)午後四時  
上野ヨリ(急行)午後三時  
上野ヨリ(急行)午後二時  
上野ヨリ(急行)午後一時











立身興業の好伴侶

# 人 圓 新 報

正邪曲直の羅針盤

▼精神教育の資料

▼處世問題の解決

人圓新報は、人生を完全、圓滿、安樂、幸福の境域に、到達せしむるを以て、目的と爲す、人圓主義の機關なり。請ふ人生を研究せんとする者。幸榮を子孫に傳へんとする輩。進んで國家の前途を憂ふるの士。舉て共に此の人圓新報を讀め。

▲毎月一回「五日」定期發行▲一部郵税共金八錢▲人圓會員。愛兒院賛助員。半年以上愛讀者。共に一部金七錢づゝの割▲半年分六部前金四拾錢▲壹年分十二部前金七十錢▲廣告料は五號活字拾九字詰一行金貳拾錢也。但し特約分は此限にわらず▲新報代廣告料共總て前金を要す▲送金は振替貯金大阪口座一第五八六三番一に依るを、確實安全とす。即ち各地の郵便局にて、振込用紙を貰ひ裏面の「通信文記帳欄」とある箇所へ、送金の事項を記し。現金を添へ、郵便局へ差出すのみ。爲替料郵便税を要せず。但し記帳料貳錢を、目的の金額以外に、増し添へ送るを乞ふ。

發行所 大分市街稻荷町 人圓會愛兒院



登 録 商 標

大日本優等清酒



芳 名 謹 四 海

釀造元

豊後大分細工町

高田保

電話一〇一五番

立身 業 好 の 伴 侶

精神教育の資料

正 直 の 道 計 算

處世問題の解決

# 人 圓 新 報

人圓新報は、人生を完全、調和、安樂、幸福に導くに、到達せしむるを以て、目的を爲す、人間主義の機關なり。品々人生を研究せんとする者、幸福を手にせんとする者、進んで國家の前途を憂ふるの士。皆て共に此の人圓新報を求め。

毎月一回一五日定期発行△一部郵費共金八錢△人圓會費△受見院寄附金△半年以上要者△共計一部金七錢△の別△半年分六部前金四拾圓△壹年分十二部前金七十圓△廣告料は五號活字九字一行金貳拾圓也。但し特約分は此限に拘らず△報代廣告料共銀七圓金を要す△送金は振替貯金大阪口座 第五八六三番一に依るを 確實安全とす。即ち各地の郵便局にて、振込用紙を以て裏面の一通信文記号欄とある場所へ、送金の事項を記し、現金を添へ、郵便局へ提出すのみ。爲替料郵送料を要せず。但し記帳料共銀を、目的の金額以外に、申し添へて送るを乞ふ。……

發行所 大分市街稻荷町 人圓會愛兒院

豊後大分町字細工町  
陸軍御用達  
陸軍被服指定商人

菅洋服店

(電話二二二番)

羅紗部、洋服部、軍服部

佐伯支店  
延岡支店

薄利勉強出荷迅速

和洋小間物  
高等袋物類 卸商  
有名化粧品

大分市竹町四丁目

加賀屋本店

電話六十四番  
振替大阪三八三番

後一

陸軍運送御用達  
九重山硫黄取扱専業  
宇和島運輸會社代理店  
馬關行足崎松本海船代理店  
帆船積貨物取扱業

豊後大分港



藤丸回漕店

電話番號二二二番

大分縣大分市大分港海岸

運送業  
兼旅館

桑原回漕店

電話一三六番

諸貨物  
運送業

大分港

共益舎

植田秀穂

後二

豊後大分港

米嘉  
支店  
御旅館

後藤回漕店

電話二〇三番

汽船荷客取扱所

歐米雜貨毛織物  
洋家具室内裝品 商

時勢に遅れざる意匠、嶄新なる最新流行  
品、荷揃居候。

品質精練にして  
價格の廉ざるは弊店の特色

一丸洋物店  
一丸洋家具部

大分竹町通貳丁目  
電話 十五番  
振替口座東京一六二一四番

大分縣大分西新町  
大分人形 高松屋事  
製造元 卸  
夏冬建具 商  
盆提灯

友永休五郎

電話百四拾六番

東宮殿下御買上の榮を賜ふ

銃砲火藥商

煙火製造 卸小賣

小花火製造

豊後大分東荷揚町

益田現一商店

後三

藥種並賣藥商  
 硫曹肥料代理店

豊後大分市大工町

中尾 藥店

電話二九番

大分縣大分郡大分町  
 (九百六番地)

高等袋物  
 高等小間物  
 内外化粧品  
 女學校用品

得丸安太郎

全 小 賣 部

(振替口座東京一六五四三番)  
 電話 百 二 十 番

後四

豊後大分市

稻田屋旅館

電話二一〇番

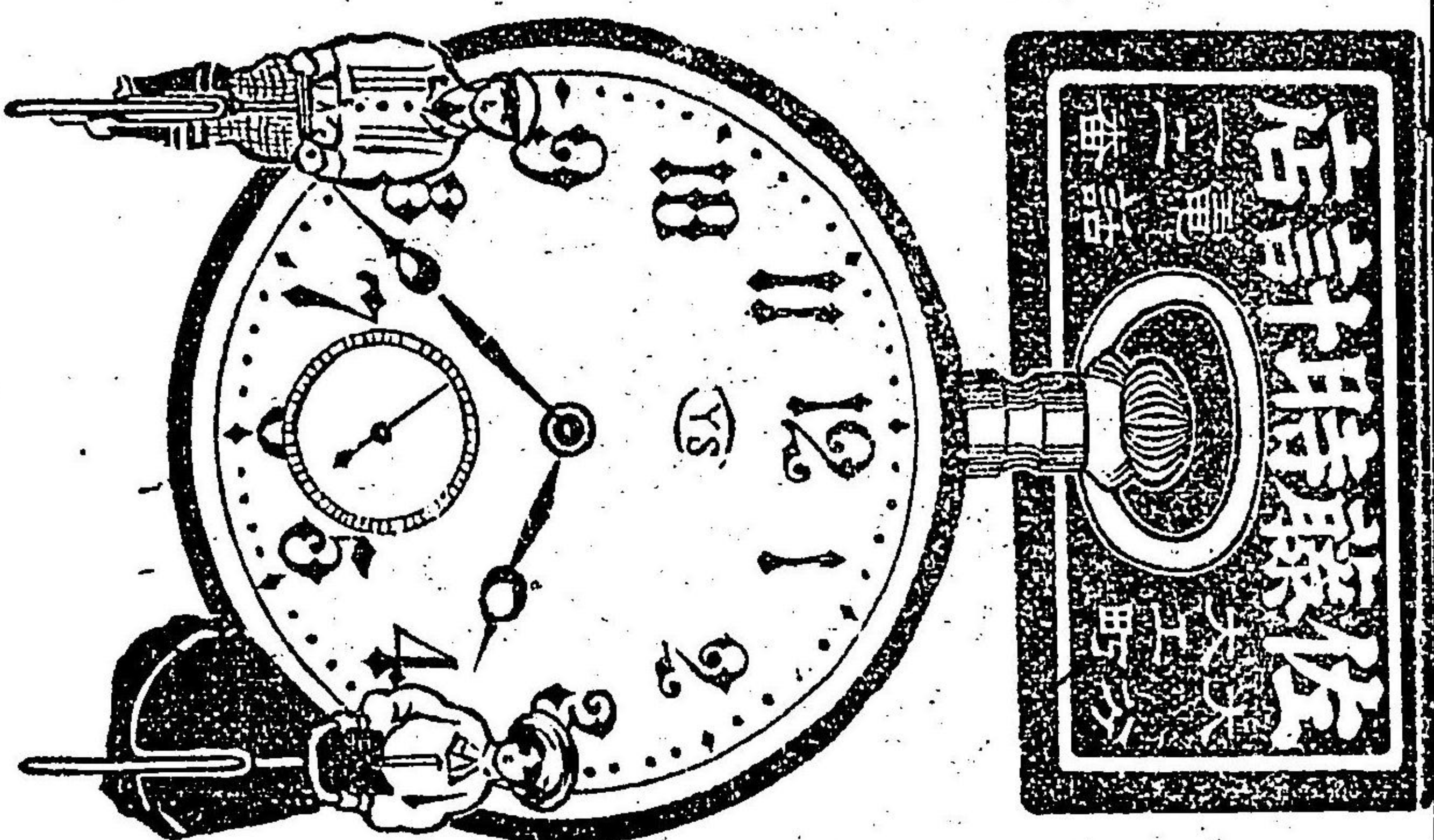
豊後大分竹町

得丸治郎

學校具  
 諸紙類  
 荒物手遊

本店は、常に新柄流行品の蒐集に注意し、且つ安價に販賣するを本旨とす  
 大分 本町  
 児玉 呉服店  
 (電話百〇七番)  
 弊店は、創業以來、貳百年間、今日迄渝りなき、老舗にして、確實正札附の、元祖なり。

自轉車と時計……………薄利多賣主義なり



時計と自轉車……………確實と勉強を旨として

後五

國各 足袋問屋

ヲイタタビ製造元

豐後國大分市

大分足袋合資會社

電話略(女) 電話架設中

後六



煙草元賣捌 大分煙草合名會社

大分縣大分竹町九〇三番地

電話略ヲタ 電話四十二番

諸國產陶器卸商

大分縣大分竹町

桑野商店

商品概目

- ▲和洋小間物▲内外化粧品
- ▲學校用品▲純金アクセサリー
- ▲最新流行洋傘▲造花器及原料
- ▲雜貨類▲和洋金物
- ▲理髮道具一式▲崩茶レジャー及安全剃
- ▲和洋ナイフ及鋏▲洋食用器類
- ▲蒸氣小床▲手石▲油燭類
- ▲塗器及位置▲小供手遊類
- ▲空器▲銃▲和洋樂器
- ▲基局▲子▲スッテ▲各本種
- ▲陶器及硝子器▲小說本及繪本
- ▲高等履物類▲空氣雪駄
- ▲雨傘各種

大分竹町通二丁目

薄利多賣主義親玉

諸品陳列販賣 確實正札附

商品館

(電話架設中)

最新流行他行に後れず

裁縫確實

大分市本町

瀧川洋服店

(電話二一四番)

後七

和洋雜貨商

大々的勉強

大分竹町通三丁目角

さよや支店

電話架設中

何品ニテモ有ル店



大阪商船株式會社  
大分荷客扱店

淺田回漕部

電話一三七番

大分縣大分市物産陳列場前

靴

洋服並

附屬品

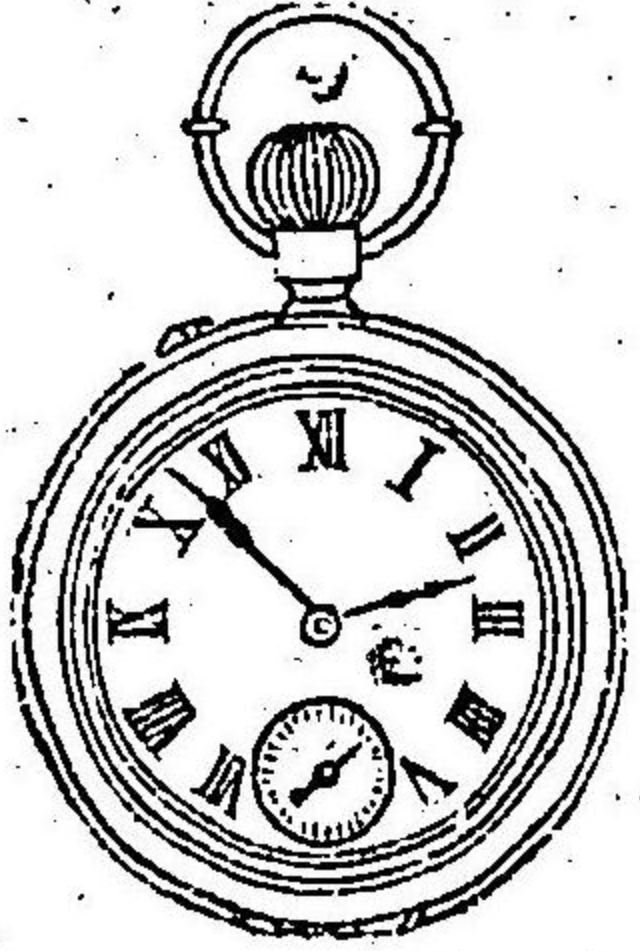
植木組洋服店

後九

營業課目

- 金銀懷中時計 ●高等掛置時計
- 美術時計附屬品 ●双眼鏡 ●金指環

米國製金側懷中時計



茲に掲げ候金側懷中時計の  
義は、米國ウオルサム時計  
會社製の、最良機械を装  
設し、其清潔なる形状は、一  
見其品質を賞嘆せしむるの  
容を持たず候へ共、其崇高  
なる價值は、永遠に其品と  
諸君が御料に供し奉るべき  
御懷中時計は、此ウオル  
サム製によりて、更に最高  
種の、一階級を加へたるも  
のに御座候。

- 拾八金拾七形七子無双、八拾參圓五拾錢◎
- 九拾五圓也◎百七圓也◎百四拾五圓也◎拾
- 八金拾七形梨地片硝子六拾圓也◎七拾圓也
- ◎百四圓也

大分大工町

萱島時計店

(電話一五七番)

最新流行スタイル

裁縫確實新裁斷法用

大分荷場町電車通り

立川洋服店

電話二〇九番

後八

和洋雜貨商

大々的勉強

大分竹町通三丁目角

さよや支店

電話架股中

何品ニテモ有ル店

大阪商船株式會社  
大分荷客扱店

淺田回漕部

電話一三七番

靴

大分縣大分市物産陳列場前

植木組洋服店

洋服並  
附屬品

後九

營業課目

- 金銀時計
- 高身掛置時計
- 美術時計附屬品
- 双眼鏡
- 金指環
- 木製製金剛鋼中時計



大分縣大分市竹町通三丁目角  
音島時計店

音島時計店

最新流行スタイル

確實裁断法用

大分荷場前電車通

立川洋服店

電話二〇九番

店扱客荷社會式株輸運島和宇

大分縣大分港  
磯崎回漕部  
電話一六七番

和船積貨物運送

為替取組ノ御相談ニ應ジ可申候

大分縣大分港

岩田屋運輸部

大分港海岸通

各種石炭販賣商  
並御旅館  
岩田回漕店

夫れ大分線の開通期も、甚だ近きにあり  
日豐、豊肥も亦遠からず、工事に着手す  
る由。左すれば、吾が大分も心機一轉。  
奇運は實に革新の時來れり。發展、故に  
弊店に於ては、大々的の覺悟を以て、從  
來諸彦の御愛顧に酬ゆる爲め、本業の擴  
張は勿論、時世に遅れざる様、刮目注意  
し、價格低廉、業務迅速、營業に従事し  
華客に對し、御満足を計るべくに付、陸  
横御購求あらん事を祈上候

大分市竹町通

吳服反物 森百吳服店

小賣並に卸商

(電話一二六番)  
東京總管五二七

吳服太物類

並に御祝儀用一式

其他新柄もの

右は諸品共、嶄新柄を仕入、特  
に安價を主とし、勉強を以て  
賣出可申候事。不相變、御用命  
の程、奉希上候。

大分竹町通

正實確 天さどや吳服店

札

(電話百〇五番)

82  
605

發行所  
賣捌所

大分縣大分市街稻荷町  
大分市街、大分縣物産陳列場。並書肆甲斐治平。  
其他豐後各温泉地。書籍。小間物。雜貨。諸商廬

人圓會九州支部

不許  
複製

明治四十三年十月一日印刷  
明治四十三年十月五日發行

大分縣豐後國大分郡大分町大字大分參百四拾參番地

著作兼  
發行者 田島大機

(雅號、南豐散士)

大阪市南區鰻谷仲之町五十三番邸

印刷者 井上仲藏

大阪市南區中橋南詰東二入

印刷所 井上活版所

南豐温泉記。附、大分縣概誌與附  
定價 金參拾五錢

吳服太物商

御祝儀用新小袖類

大分 富 竹町

津留屋吳服店

(電話百五十五番)

美 術 諸 看 板  
建 築 各 種 鐵 道 廣 告  
請 負 各 種 工 事

堀部工舎

大分北ノ新地



82  
605

明治四十三年十月一日印刷  
明治四十三年十月五日發行

不許  
複製

發行所  
賣捌所

大分縣大分市街稻荷町  
大分市街、大分縣物産陳列場。並書肆甲斐治平。  
其他豐後各温泉地。書籍。小間物。雜貨。諸商處

人圓會九州支部

大分縣豐後國大分郡大分町大字大分參百四拾參番地  
著作兼 發行所 田島大機  
大阪府南區鰻谷仲之町五十三番邸  
印刷者 井上仲藏  
大阪府南區中橋南詰東二入  
印刷所 井上活版所

南豐温泉記。附、大分縣概誌與附  
定價 金 叁拾五錢

大分縣物産陳列場  
御祝儀用新小冊  
留聲機  
吳屋  
店服

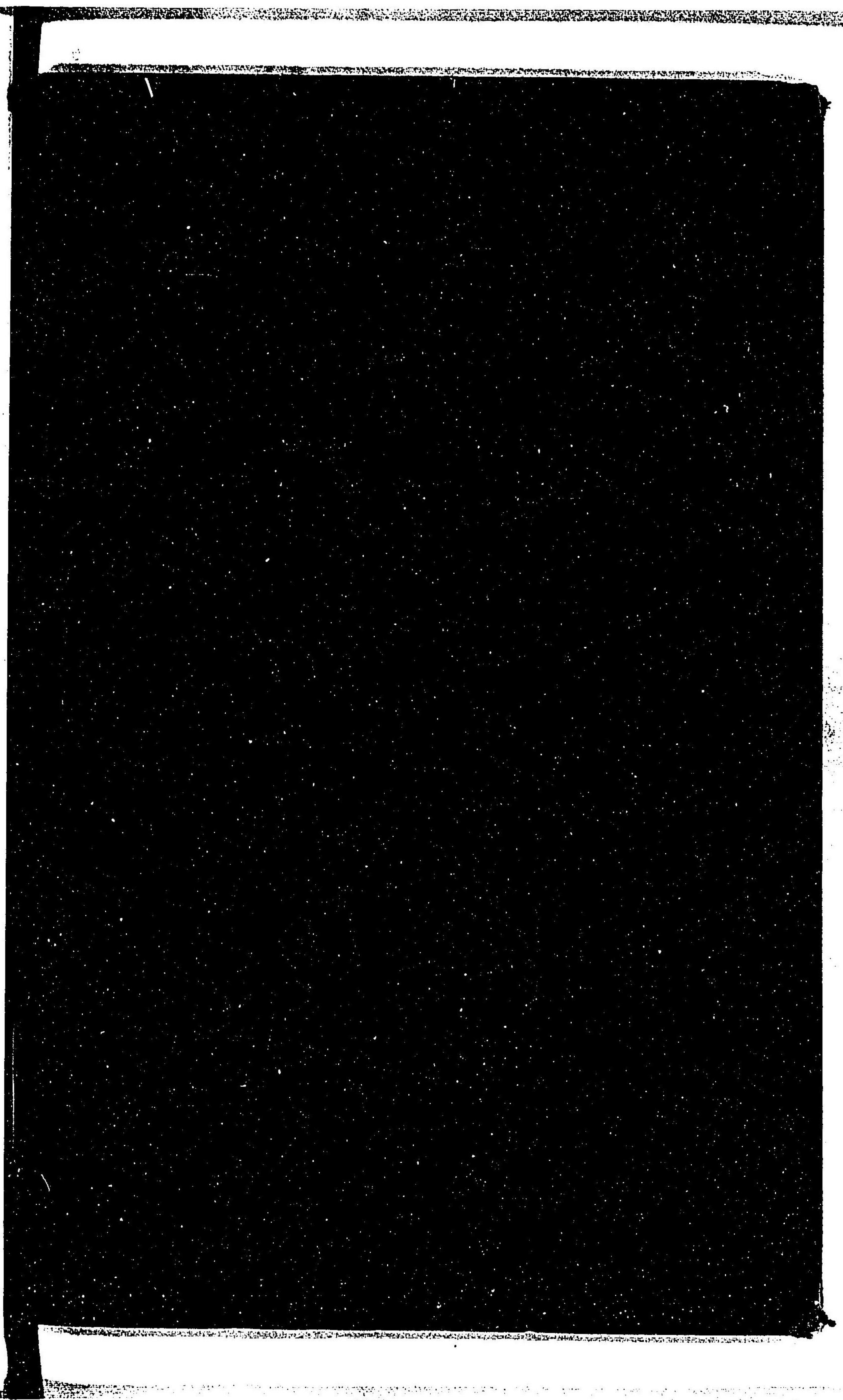
美築  
術鐵  
諸道  
看廣  
板精  
工部  
舍

有温泉諸色。老人無何儂者。

豊の海江にたてる温泉の烟り、

千年振る世のしるしなり。

82
608





026278-000-0

82-605

南豊温泉記 (新撰)

田島 大機 / 著

M43

ADC-4038



